

学科としての教員養成の目標、計画、教育の質向上の取り組み

工学部 建築学科（高一種免（工業））

①教員養成の目標

福山大学は、教育基本法 の精神に則り、学校教育法 の定めるところに従い、幅広い知識とともに深い専門の学芸を身につけ、知的・道徳的及び応用的能力を展開できる、人格円満で教養の高い有為な人材を育成することを目的としている。その目的のもとで、工学部では、各専門分野における高度な工学専門知識・技術を習得し、広い視野と豊かな人間性を備えた実践的な技術者を養成し、各専門分野における新しい技術を創造する。また社会安全工学教育にも重点をおき、社会に貢献する人材の育成を目的としている。建築学科は建築物から都市、地域に至るまでの人間の生活環境全般にわたる幅広い分野を担っており、建築を構成する各分野の専門知識を身につけ、快適な生活環境と社会の安全を実現するための総合的知識と技術を会得した人材の育成を目的としている。

このような目的のもと、幅広い知識、高度な専門知識、総合的知識、技術を身につけ、果たすべき役割と責任を自覚し、社会に貢献することができる高等学校工業教諭（一種）の育成を目標とする。

②教員養成の計画

教員養成の目標を達成するために、大学4年間において、語学、教養教育科目、専門基礎科目、専門科目などを系統的に教授できるようなカリキュラムを計画している。建築学科では、各分野の基礎知識の理解から始まり、専門知識の理解・応用に展開し、建築に関する技術の総合化に至るまでの段階的な教育プログラムを設定しており、その中では学生が自立し、他者と対話し、社会参加し、自己表現できる態度についても教育している。

教科に関する科目には、建築計画、建築設備、都市計画、建築史、建築構造、建築材料などを扱う講義科目に加えて、設計製図、CAD などの演習科目を設け、総合的な知識・技術を身につけた教員養成を計画している。

③教員養成教育の質向上の取り組み

学内に設置された教職課程委員会において、科目の担当者、シラバス、時間割、教育実習校への視察、教員免許申請の可否など、教職課程の運営や教職指導の内容について討議し、教員養成教育の質を向上させる取り組みが行われている。各学年の教職課程履修学生に対し、学科の教職課程担当教員が個別に履修指導、教職指導を実施している。とくに、4年次の教育実習においては、実習期間中に実習校に赴き、実習校の指導教員とともに実習内容の充実を図っている。
